

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センター施設管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	02	01 02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	戸部 孝彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センター（建物）	意図	破損事故の復旧にかかる支出を最小限にとどめ、施設予約及び施設利用の円滑化を図る。
事業内容	生涯学習センターに係る指定管理者が行なう事業以外の庶務事業（建物損害保険、施設予約システムにかかるネットワーク通信料）及び突発的な修繕（30万円以上）			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年度に県から移譲された県立流山青年の家を生涯学習センター施設にする改修工事を行い、平成18年4月から指定管理制度による維持管理運営を開始した。生涯学習センターは既存施設の一部を改修し、オープンしたものであり、付帯設備である予約システムに係る経費等、必要最小限の維持費用は継続している。平成25年度は、ESCO事業に伴う空調・照明改修工事を実施し施設の改善が図られた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	開館日数	349	329	350	日
②	稼働率	52.40	48.80	49.70	%	↑↑↑	各会議室等全体の稼働率
③	利用件数	17,895	15,421	16,472	件	↑↑↑	貸し時間単位件数の年間合計
④							
指標で表すことができない定性的な成果	平成26年度の利用者数は22万7千で、前年度と比較すると4万1千人増となっている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムの活用等により年々稼働率等が増加傾向にあり、市民満足度の高い施設運営を行っている。 ・稼働率及び利用件数とも前年を上回る結果となった。 ・平成25年度にESCO事業に伴う空調・照明改修工事が行われたことにより、平成26年度の光熱水費が前年度よりも約530万円削減された。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,669,462	2,280,312	2,516,327				
事業費(b)(円)	516,062	184,212	443,547				
うち一般財源	516,062	184,212	443,547				
職員給与費(c)(円)	2,153,400	2,096,100	2,072,780				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	市民団体等との協働による事業運営を工夫する。	③取り組みの課題	施設の経年劣化の把握と計画的な修繕の必要性。
②今年度(H26)に実施した取り組み	貸出用のワイヤレスアンプが故障し修理不能であったため、新たに購入し施設利用者の利用に供している。	④今後の改善計画	効率的な施設管理運営を工夫する必要がある。